

令和5年度 学校評価 自己評価結果等

本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の自己有用感・自己肯定感を高める教育活動を推進する。</li> <li>・指導と評価の一体化を一層推進し、指導の質を高める。</li> <li>・質の高い教育を維持しつつ、教職員の多忙化解消に向けて取組を進める。</li> </ul>		
分掌名	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA事業のあり方を再確認し、よりよいPTA活動を目指す。</li> <li>・自主的な防災者としての意識を涵養する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への情報提供、交流という視点で、役員会等でPTA事業について検討する。</li> <li>・現実的な条件を加えて防災訓練を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くのPTA事業を実施することができ、情報提供、保護者の交流を図ることができた。今後は反省を生かし、事業を精査、再検討をしていく必要がある。</li> <li>・防災新聞を発行し、情報提供をした。また防災訓練で避難経路の確認、シェイクアウト訓練を実施することができた。今後は生徒に予告せずに実施するなどさらに工夫をしていく。</li> </ul>
教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的基本的な知識の定着を前提とする「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。</li> <li>・新教育課程に関わる評価の在り方について研究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人の特性を理解しながら、計画的に学習し、主体的に学ぶ姿勢を育てる。</li> <li>・教科間で連携を取りつつ、評価の観点を整理し、具体的なものが作り上げていけるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習時間調査や生活記録を通して、継続的に学習を促すことができた。今後は計画的・主体的に学習に取り組む姿勢を育てるための方策を検討していく必要がある。</li> <li>・教科主任会などで評価に関する話し合いを進めることはできた。来年度の全学年新教育課程実施に向けてさらに具体的なものにしていく。</li> </ul>
保健部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎やトイレの改修にともない、新しい清掃の方法を指導するとともに、清掃道具等の見直しを行う。</li> <li>・教育相談を充実させ、生徒が安心して学校生活を送り、悩みなどを気軽に相談できる雰囲気をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃状況を美化委員会を中心に清掃状況が点検し、環境美化への意識を高める。</li> <li>・教育相談委員会を中心として、学年とSC等との連携を密にし、個別の支援が必要な生徒には迅速に支援チームを立ち上げる体制を常時整えておく。</li> <li>・教育相談室を生徒が気軽に来室できるように整備する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒による清掃状況の点検はできなかったが、保健部員を中心として清掃が不備な箇所に関して道具を整備したり、清掃方法を監督教員や生徒に提案し環境美化に努めた。</li> <li>・学年とSCの連携をうまくとることができた。今後の課題としては、もう少し気軽にSCに生徒が相談できる体制を確立する必要がある。</li> <li>・本館改修工事により、教育相談室が使用できない時もあったが、室内を整理し相談しやすい空間になるように改善した。</li> </ul>
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全への意識の向上を目指し生徒が危機意識を持ち、安全に登校できる環境を作る。</li> <li>・いじめを許さない雰囲気をつくり、同時に支援を必要とする生徒をいち早く察知し、教員間で連携して支援できるようにする。</li> <li>・身だしなみを整えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通立ち番の見直しを図る、交通安全教室の充実を進める。</li> <li>・いじめ・不登校対策委員会の充実、教育相談委員会との連携を進め、個別の生徒に対する支援チームを立ち上げるなどの対応を迅速かつきめ細かにできる体制を常時整えておく。</li> <li>・身だしなみ強化週間の設定、出会い頭指導の全職員の協力などを通じて生徒に声掛けをしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通立ち番は見直しを図ったが交通事故報告は減っていない。具体的な方策を継続的に審議していく。</li> <li>・いじめと疑わしき案件が2件発生したが、いじめ不登校対策委員会を迅速に開催し、検討できた。結果的にはいじめの認知はせずに経過観察となったが、実際に認知され重大事案となった場合に迅速に関係各所と連携できるように準備をしておきたい。身だしなみについては校則の変更と連動して適切な指導ができるように検討していきたい。</li> </ul>
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統的、計画的なキャリア教育を推進するとともに、生徒の進路希望の実現を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統的、計画的なキャリア教育を総合的な探求の時間を通じて実践するとともに、学年と連携を取り、生徒の進路実現に向けオリエンテーション、学年集会や進路だよりを利用して進路意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な探究の時間、及びLITを通じて、キャリア教育を系統的に、計画的に進めることができた。今後はさらに学年間の情報共通を密にし、前の学年の良い実践例を次の学年にも生かせるような工夫をしたい。</li> </ul>
特別活動部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係形成能力と社会形成能力の育成を目指し、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。</li> <li>・社会の変化に、臨機応変に対応し、柔軟な発想で対応できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動や行事の活性化により、リーダーを育成する。</li> <li>・花いっぱい、地域美化などボランティア活動を推進し、活動参加を促す。</li> <li>・知立東のつどいなどの行事を通して、ICT活用を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策も落ち着きつつあり、部活動やボランティア、花いっぱいなどの行事を例年通り行うことができた。活発に活動ができ、リーダー的な行動や発言ができる生徒も増えたと感じる。</li> <li>・ICTの活用は行事を行うこととは反対の方向であったが、その中でもアンケートをICTで行い、集計することで活用することができた。</li> </ul>
図書研修部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館及び情報機器利用の推進のために教科や学年との連携を進め、豊かな人間形成を目指す。</li> <li>・現職研修を活性化して職員間の相互理解を促進し、教員の専門性を高め、教育技術の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館企画により、本への興味を喚起し、来館者数や貸し出し冊数の増加を目指す。</li> <li>・公開授業週間で職員が研究授業や授業参観を積極的に行えるようにする。</li> <li>・生徒用タブレットやBYODの導入を通じて、情報化を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期は図書館の通常利用が不可能だったため、来館者数、貸出冊数ともに大幅減となった。</li> <li>・あいちラーニング推進事業関連の公開授業など、本校の職員だけでなく、他校からの見学も多数あった。</li> <li>・原則タブレットを持ち帰らせることにしたため、破損等がかなりの数にのぼった。</li> </ul>
1 学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における基本的生活習慣の確立を図る。</li> <li>・高等学校の学習を始めるために必要な基礎・基本を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をしっかりとさせる。</li> <li>・5分前集合を基本とし、時間を守らせる。</li> <li>・提出物の期限を守らせ、出し切らせる指導をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの生徒が挨拶をしっかりと行い、基本的生活習慣を身に付け、時間を守り行動することができた。体調不良等で保健室利用が多い生徒に対しては、個々の事情を鑑み、今後に対応していく必要がある。</li> <li>・課題にしっかりと取り組むよう、声かけを頻繁に行い、個に応じた学習を進めることができた。</li> </ul>
2 学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に対する高い意識をもたせ、学習習慣を身に付けさせる。</li> <li>・学校の中核を担う学年であるという意識をもって行動させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な進路目標をもたせるためにきめ細かく指導する。</li> <li>・日々の学習に対するアドバイスをする。</li> <li>・学校行事や部活動に積極的に参加させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の進路決定に向けて、オープンキャンパスに積極的に参加するなど主体的に考え行動する力を身に付けることができた。また、修学旅行を通して集団の中で自分の役割や周りとの関わり方などを学ぶことができた。</li> <li>・部活動や学校行事の中で、中心となってまとめることや引っ張っていくことができるようになってきた。</li> </ul>
3 学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路目標実現に向けて、高い目標をもち最後まで努力を続けさせる。</li> <li>・学校を中心としてどう動くべきかを常に考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別面談等で、モチベーションを保つための声掛けや、アドバイスをこまめに行う。</li> <li>・定期的にリーダー会を開き、心構えや行動を考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の進路実現のために日々努力することができた。</li> <li>・進路実現のために自分で調べ、担任や保護者と何度も話し合いをすることができた。自発的に行動する力が身に付いた。</li> <li>・最高学年として、学校行事や部活動などで全体を引っ張る姿が見られた。</li> </ul>
総合評価	<p>各学年で実施する校外学習等を通じて、体験的・探究的な学習を深めることができた。課外活動である部活動も盛んで、県大会以上の大会への進出者・団体も多くあり、生徒の達成感や自己肯定感の醸成に寄与している。学習面では、各教科において観点別評価の研究、指導及び評価の一体化を推進し、指導の改善につなげることができた。また、あいちラーニング推進事業での取組等を通じて、ICTを活用した効果的な指導法の研究及び教員業務の改善を行うことができた。</p>		